

2014年9月1日より12月  
末までの4ヶ月間、アルバータ大  
学(U of A)に留学する機会を  
得ました。U of Aはカナダ中  
西部アルバータ州の州都エドモン  
トンにあり、広大な敷地の中に  
4万人の学生が学ぶ、カナダでは  
有数の規模を誇る総合大学です。  
エドモントンはいますと、北  
米内の100万都市圏では最北  
に位置する、森の中に街があるよ  
うな美しい所です。僕は9月に赴  
きましたので、緑多い絵に描いた  
ような町並みをあちこちと歩きま  
わり、カナダに来たという非日常  
感に興奮したものでした。が、し  
かしそれもつかの間、10月には  
木々の葉が落ち、11月初旬には雪  
が降り、11月末にはマイナス20℃  
を割り込むようになってしまいま  
した。建物がやたらとペドウェイ  
(渡り廊下)で結ばれていたり、北  
米最大のショッピングモールが  
あったりするのはこのためだった  
のかと妙に納得しました。そして、  
表を出歩かなくなった分、日々の  
研究に集中することができたので  
す。

ウガンダから来た留学生のセン  
フマ・ユスフです。日本に来て、  
今年で3年が過ぎました。最初の  
2年は、大阪で日本語と専門の勉  
強をしました。昨年の4月に徳島  
大学に入学し、大学の近くの住吉  
というところに住んでいます。

大阪から徳島まではバスでおよ  
そ3時間です。そんなに遠いわけ  
ではないのですが、この二つの街  
はいろいろな点で違うことに気づ  
きました。例えば、方言や文化が  
異なります。大阪と違って徳島は  
比較的静かで、徳島の生活に慣れ  
るのに少し時間がかかりました。  
しばらくすると、阿波踊りの季節  
になりました。大阪では似たよう  
な祭りを見たことがなかったの  
とても楽しかったです。ウガンダ  
にも阿波踊りに似たダンスがある  
ので、懐かしく感じました。二日  
間、ずっと踊りました。阿波踊り  
がきっかけで、徳島が好きにな  
りました。

また、徳島の自然のすばらしさ  
にも気づくようになりました。鳴  
門のうず潮、眉山、祖谷のかずら  
橋や吉野川などです。阿波弁も少  
し覚えて、「徳島人」に少し近づ  
いたような感じがしています。例  
えば、「えつとぶり」や「まけまけ」  
といった言葉が使えるようになり  
ました。徳島の人は外国人に興味



Dr. El-Bialyを囲んで(本人右)。

# アルバータ大学に 短期留学して

徳島大学病院 矯正歯科 講師  
堀内 信也 (ほりうち しんや)

私がお世話になったのは、歯科  
分野における超音波の臨床応用で  
著名なDr. Tarek El-Bialyのラボ  
でした。カナダは人種のモザイク  
といわれますが、Dr. El-Bialyが  
エジプト出身ということもあり、  
彼の下にはインド、パキスタン、  
レバノン、ブラジルと、実に多彩  
な国々から人々が集まっています。  
ラボは厳しいながらも和気あ  
いあいとした雰囲気、月に1度  
あるお食事会では、宗教的な理由  
からなかなか決まらないレストラ  
ン選びについて皆で討論したもの  
です。そんななかで、私は日本か

ら持ち込んだポータブルの発振器  
を用いて超音波が細胞に与える影  
響を検討したのですが、英語が不  
自由な私をラボのメンバーが親身  
にサポートしてくれ、なんとか良  
い結果を出そうと最後までつき  
あってくれました。加えて、Dr.  
El-Bialyは臨床矯正歯科医でした  
ので、症例検討会、リサーチクリ  
ニック、マスターコースの講義に  
参加することができ、カナダの教  
育、臨床の現場を垣間見ることが  
できたのも貴重な経験となりました。  
こうして日々忙しく過ごしてい

ると4か月は瞬く間に過ぎ去り、  
後ろ髪引かれる思いで帰国の途に  
つきました。エドモントンは別名  
フェスティバルシティといわれる  
ほどイベントが多く、短い夏を楽  
しむそうです。今度は是非暖かい  
ときに行ってみたいと密かな野望  
を抱いています。  
最後に、この様な貴重な機会を  
お与えくださいました田中栄二教  
授、不在中多大な迷惑をおかけ  
しました口腔顎顔面矯正学分野の  
先生方、また、Dr. El-Bialyをは  
じめ、U of Aの皆様にこの場  
をお借りして御礼申し上げます。



凍てつくノースサスカチワン川(背景はU of Aのビル群)。



定番のアルバータビーフ。

What's happening?



留学生  
滞在記

## 徳島での生活

工学部 電気電子工学科 4年  
SSENFUMA YUSUFU [ウガンダ]  
(センフマ・ユスフ)



大学の先輩と



お気に入りの時計の前で

を持っていく人が多く、私のよう  
な外国人にとっては暮らしやすい  
場所だと思っています。初めて私に会  
う人は、私を見て「あらまああ」と  
びつくりするのですが、「どこ  
のひとですか」、「なぜ日本、何で  
徳島ですか」、「日本の好きな所  
は?」、「食べられないものはあり  
ますか」などといういろいろ質問して  
きます。自分に関してたくさん質  
問されると、自分が歓迎されてい  
るような気持ちになりますし、相  
手と親しくなれるような気がしま  
す。ウガンダの人の中にもやさし  
い人はいますが、日本人のように  
はやさしくないとはいえません。徳島  
で幸せな日々を送っています。

徳島大学では、ここに書ききれ  
ないくらいたくさんのかを経験  
しています。昨年3月に大阪の専  
門学校を卒業して、4月に徳島大  
学電気電子工学科3年に編入しま  
した。一緒に3年次に編入した学  
生は、全員高等専門学校卒業生  
で私より幅広く勉強していました。  
私は本当に単位を取得して4年生  
になれるのか心配でしたが、運良  
く私と同じ専門学校を卒業した徳  
島大学の先輩と知り合いました。  
その先輩には、同級生の友人を紹  
介していただいたり、電気電子工  
学科の先生に私のことについて話  
していただいたりして、本当にお  
世話になりました。  
徳島大学の先生方はとても熱心  
に研究をしておられ、外国人の学  
生をとてよくサポートしてくだ  
さいます。多くの先生が英語を話  
されるので、コミュニケーション  
の壁は感じませんでした。試験  
やレポートなど、日本語でも英語  
でもよいと言ってくださる先生方  
も多くいらっしゃいます。とても  
忙しい学生生活を送っていますが、  
勉強にとっても良い環境のおかげで、  
今年4月から4年生になりました。  
徳島には美しいところがたくさ  
んあります。鳴門のうず潮はとて  
もきれいですし、夜の吉野川に  
架かる橋のLEDの輝きも気に  
入っています。大学生活の残りの  
時間、徳島のまだ行ってないところ  
に行つて、徳島についてもっと  
詳しく知りたいと思っています。



大好きな  
ギターと